

IV 松本秀峰中等教育学校

1. 基本方針と主な取組

2021 年度中学校、2022 年度高等学校と予定されている学習指導要領の改訂に向け、教育課程の見直しを検討した。併せて、予定された 2021 年度大学入試改革（新高 3 生）への対応も行ってきたが、急な見直し修正もあり、現在は状況を見ながらの対応となっている。この教育課程の見直しと新たな大学入試改革へ対応する進路指導システムの構築については次年度での継続課題となる。

また、“様々な自主活動支援”について「科学の甲子園」「数学の甲子園」「模擬国連全国大会」など前年同様取り組んだが、全国大会出場が叶わず、より早期からの支援が課題となる。

進路関係では、東大 1 名（現役）ほか旧帝大に合計 5 名が合格。また、国立大医学科入試で 5 名ほか医学科 16 名が合格など、多くの生徒が希望する進路を実現することができた。

生徒募集では、進路実績および各種コンテスト入賞実績などに関心が集まり、年間通じて学校説明会への参加人数が過去最高となるとともに、入試での志願倍率も過去最高となった。

2. 主な事業

(1) 希望進路実現に向けての指導

建学の精神に明記されている「未来の日本を担い、社会で活躍する人材」を育成するために、学年進行に応じた具体的課題を意識した指導を行った。

また、6 年次の習熟度別 3 クラス編成を踏襲しながら、希望する進路を達成するためのきめ細やかな指導に努めた。また、蓄積してきた進学データを教員が共有しながら生徒に反映させるため、進路指導部イニシアティブ・システムの一層の充実を図った。

(2) 授業および学習指導の充実

職員研修として大学入試分析会を行い、情報共有を図りながら授業へ反映させた。また、放課後セミナーを充実させるとともに、進路指導部がイニシアティブをとりながら 6 学年との連携を強化し、最難関大学への受験指導に注力した。

(3) 特性・個性・才能の発見と育成

放課後の時間を活用し、生徒会や部活動以外にも様々な自主活動支援を行った。各プログラムへの自発的な参加を通して、大きな夢の自己実現へのモチベーションを高めることができた。

(4) 学校生活等に係わる事項

通学時の電車マナーなど、「秀峰生らしさ」について考えながら日々行動することに心がけるなど、秀峰生としての意識ある学校生活を指導した。

(5) 行事など取り組みの改善

6 年間の学年行事についてキャリア教育の視点を重視し再検討したが、まだ十分でない面があり、次年度への課題としたい。

企画から運営までを生徒のみで実施する生徒会行事“スポーツイベント”は今年で 4 回目となったが、中身の充実が図られることで高い達成感を得ることができた。

(6) 生徒会活動・部活動・PST 活動

生徒会が企画・運営する「ふれあい集会」は、生徒のアイデアが直接反映できる仕組みにしたが、教師の後方支援の手法に工夫が必要であった。

PST 活動は、生徒の後方支援としての役割を明確にしてこれまでを踏襲した活動を推進する。

(7) イギリス海外研修

7 回目のイギリス海外研修を実施。これまでの海外研修での積み上げを十分に生かしたプログラムとして充実した内容となった。

(8) 入試方法の見直し

2 年連続で過去最高の倍率となったが、2021 年度入試からは「本入試のみ」とすることとした。

3. 生徒支援 等

(1) 健康管理

保健室に来室した生徒について教職員グループウェアによる速やかな情報共有を図り、保護者に安心と信頼をいただける対応に努めた。

(2) パーソナルサポート

心の問題を抱えた生徒には、スクールカウンセラーによるカウンセリングを定期的を実施(希望制)。場合によっては保護者のカウンセリングも行うなどの支援を行った。

(3) PST 活動

生徒の主体的な活動の後方支援が中心となった。特に、秀峰アカデミアでは 20 名を越える保護者の方々を講師に、様々な分野の講座が開設され、生徒からも大変好評であった。

4. 生徒の状況

(1) 生徒の在籍状況 (2019 年 3 月 31 日現在) ※2019 年度の編入生は 4 名

1 学年 88 名 (男子 53 名、女子 35 名) / 2 学年 86 名 (男子 36 名、女子 50 名)

3 学年 78 名 (男子 38 名、女子 40 名) / 4 学年 81 名 (男子 43 名、女子 38 名)

5 学年 79 名 (男子 39 名、女子 40 名) ※6 学年卒業時 79 名 (男子 30 名、女子 49 名)

(2) 生徒会 (委員会・部活動)

生徒会活動では、これまでの活動を見直し新たな取り組みを積極的に行おうとする機会が多く、試行錯誤しながらも“考える”場面が多かった。特に秀峰祭では、これまでの文化祭以上に工夫がみられ、主体性や責任感を涵養することができた。

部活動では、限られた活動条件の中でも充実した活動ができており、これまで以上の実績を出すことができた部もあった。

5. 進路状況 ※別紙参照

6. 教職員採用状況

2020 年度採用では複数回採用試験を実施。理科 1 名を新規に採用した。今後、教育課程見直しに伴い、一部教科でより充実した教科指導のための増員が必要となる。2021 年度からの採用を進めていきたい。

7. 生徒募集・広報活動

学校説明会では、本校の教育的成果を説得的に表すこれまでの進路実績を基に、それを裏付け

る6年一貫教育システムのアドバンテージと本校独自の学力向上システムについて積極的にアピールした。また、進路実績を広く全国に周知することで本校の存在感をより高め、地域からの評価を一層高めながら十分な志願者を獲得できるよう募集活動を展開した。そうしたことから、入試での志願倍率が3年連続で2倍を超えるとともに過去最高となった。

松本秀峰中等教育学校 2020年度大学入試 合格状況

国立大学

大学	現役	既卒	計
東京大学	1		1
北海道大学	1		1
東北大学	1		1
名古屋大学	2		2
岩手大学	1		1
筑波大学	1		1
横浜国立大学		1	1
浜松医科大学	1		1
新潟大学	3		3
信州大学	7	1	8
金沢大学	1		1
富山大学	1		1
静岡大学	1		1
鹿児島大学	1		1
水産大学校	1		1
合計	23	2	25

私立大学

大学	現役	既卒	計
慶應義塾大学	1	1	2
早稲田大学	4	6	10
東京理科大学	7	1	8
明治大学	3	1	4
青山学院大学	1		1
立教大学	2		2
中央大学	2	2	4
法政大学	1		1
関西大学		1	1
同志社大学		3	3
立命館大学	8	6	14
国際基督教大学	1	1	2
津田塾大学	3		3
芝浦工業大学	1		1
近畿大学	7	1	8
合計	41	23	64

公立大学

大学	現役	既卒	計
山梨県立大学	1		1
静岡県立大学	1		1
公立小松大学	1		1
名古屋市立大学	1		1
大阪府立大学		1	1
北九州市立大学	1		1
合計	5	1	6

医学部医学科

大学	現役	既卒	計
信州大学	3	1	4
新潟大学	1		1
順天堂大学	1		1
昭和大学	2		2
国際医療福祉大学		1	1
東海大学	1	1	2
東京医科大学		1	1
東京女子医科大学	1		1
聖マリアンナ医科大学		1	1
独協医科大学		2	2
合計	9	7	16

卒業生数 79名（男子30名、女子49名）